

# 災害廃棄物を活用した夏井地区海岸堤防 ～ダム技術を海に生かす～

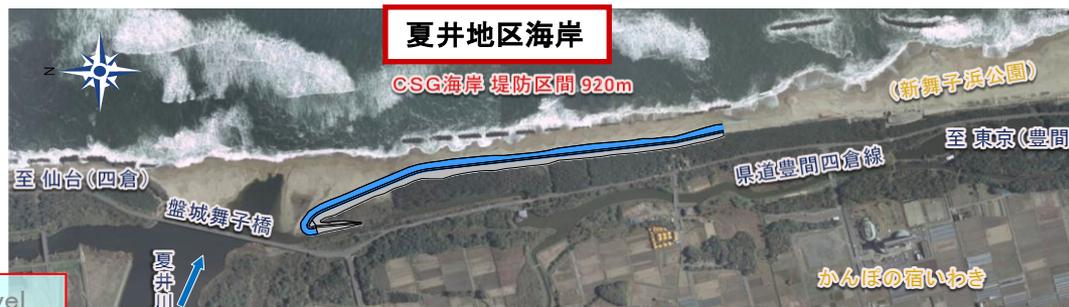


いわき建設事務所  
河川砂防課 主任主査 猪狩 洋

施工場所:いわき市平下大越字南横手地内

## 1. 概要

- 夏井地区海岸は、復旧復興事業として福島県で最初に完成した海岸堤防であり、**震災コンクリートがれき**にセメント・水を加えた**CSG**を用いて造られました。
- この技術は、ダムで開発された**CSG**を海岸堤防へ応用した**日本初の技術**であります。



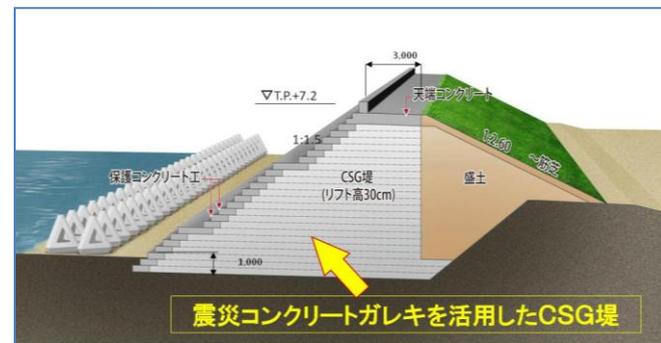
## 2. CSG工法とは

Cemented Sand and Gravel  
セメント 砂 礫

### 台形CSGダムとして開発された技術

- 現場周辺で**容易に得られる材料**を有効活用し、環境負荷の軽減と**コスト縮減**が図れる。
- 骨材プラントの省略、**施工設備の簡素化**により、**コスト縮減**が図れる。
- 汎用機械により**急速施工**を行うことができる。

海岸名	夏井地区海岸
事業名	高潮対策事業
延長	L = 920m
体積	V = 60,000m <sup>3</sup> (内CSG堤V = 40,000m <sup>3</sup> )
施設	海岸堤防(新設)
堤防天端高	T.P.+7.2m



## 3. コンクリートがれきの有効活用

- いわき市で震災により発生したコンクリートがれき**50万m<sup>3</sup>**のうち**4万m<sup>3</sup>**を堤防材料に有効活用しました。
- 廃棄物を管理する**いわき市**とコンクリートがれきの取り扱い、搬出時期及び搬出方法について**速やかに調整・合意**を得たことで**早期着工**が可能となりました。
- 廃掃法の課題**は、請負者が移動式破碎機の施設設置許可を取得し、**いわき市が主体となり運搬**することで**困難な法的手続きを解決**しました。

- ◎ **コンクリートの場合**: 骨材粒度・単位水量を一定に管理
- ◎ **CSGの場合**: **骨材粒度・単位水量がばらついても強度が確保できる**



いわき市が主体で運搬

